

1. 検討対象

- (1) 入国空港から選手村に直行するケース
 - (2) 入国空港からホストタウン等を経由して選手村に移動するケース
 - (3) 大会期間中の選手村から競技会場・練習会場等に移動するケース
- ※大会終了後の移動については、経路に合わせて（1）又は（2）と同様のルールを想定

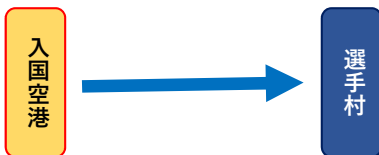
2. 対応案

※（1）（2）（3）の全てのケースにおいて、以下の枠組みでアスリートへの対応を検討してはどうか。その際、IOC、IPC、IF等と連携しつつ、詳細な検討を進めていくことが必要。

全ケース共通

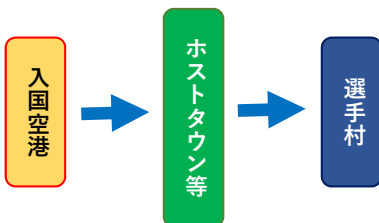
- ホストタウン・事前キャンプ地を含む国内の全行程を登録させる。
- 登録された国内行程を基に選手等の入国から出国に至るまでの国内行程を網羅的に把握。
- 選手等は、選手村と競技会場、練習会場等の間を原則として専用車両で移動。但し、公共交通機関の利用がやむを得ない場合は限定的に利用（航空機、新幹線等）。
- 選手等の移動に関して必要な感染防止策については、オリパラにおけるアスリート等の出入国に係る措置や業種別ガイドラインを踏まえ検討。
- 安全・安心な大会運営の観点から、選手等の国内移動時の具体的な感染防止策を策定。
 - ・ 入国時・出国時の空港と選手村間の移動
 - ・ 選手村と競技会場、練習会場等との間の移動
 - ・ 選手村とIBC<国際放送センター>/MPC<メインプレスセンター>間の移動
 - ・ 都市間の移動
 - ・ 自己手配車両等による移動
 - ・ 荷物の取扱い 等

（1）入国空港から選手村に直行するケース



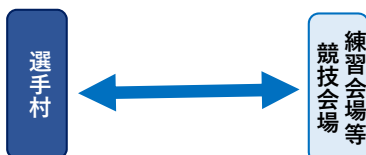
- 入国後、選手村に直行する選手等は、原則として組織委が調達する専用車両で移動。

（2）入国空港からホストタウン等を経由して選手村に移動するケース



- 大会前のホストタウン交流や事前合宿等のため、選手村に直行しない選手等は、原則としてホストタウン等が調達する専用車両で移動。但し、公共交通機関の利用がやむを得ない場合は限定的に利用（航空機、新幹線等）。
- 選手等の受入れ自治体等は、ホストタウン等への移動時の具体的な感染防止策（移動ルール）を定め、「受入れマニュアル」に記載。
- 移動ルールの順守を担保する方策を検討。

（3）大会期間中の選手村から競技会場・練習会場等に移動するケース



- 選手村から競技会場・練習会場等への移動は、原則として組織委が調達する専用車両で移動。但し、公共交通機関の利用がやむを得ない場合は限定的に利用（航空機、新幹線等）。